

『 B型肝炎について 』

～～B型肝炎ウイルス陽性＝肝がんの危険性が高い～～

まず一句

『B型の 肝がん発生 敏感に！』



(B型肝炎・・・B肝・・・びーかん・・・敏感・・・)

肝がんの発生原因としてB型肝炎が20%を占めています(C型が70%)

たかが20%だと思っははいけません!!

B型肝炎で亡くなる方は未だに減少していません!!!

日本のB型肝炎キャリア(ずっとウイルスを持っている状態)の殆どは母子感染

⇒すなわち母親がキャリアで1歳未満の乳児期に子供に感染する事が原因

※成人では感染しても殆ど急性で終わります(最近では違うタイプのB型も増えつつある)

キャリアの約20%が慢性肝炎を発症

その後肝硬変になると年率3～5%で肝がんを合併します。

★注目★ C型肝炎との違い

肝硬変にならず、全くの正常肝でもB型肝炎ウイルスがいるだけで

肝がんが発生する場合があります。

⇒⇒C型肝炎とは肝がんの発症機序が異なるようです。

※若年でも肝がんになるのが特徴です

《当院でも20歳代で肝がんになり、手術をした症例がありました》

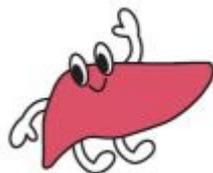
C型肝炎→→→肝硬変→→→肝がん

B型肝炎→→→肝硬変→→→肝がん

↓

↑

└→→いきなり発生→→┘



これだけ覚えておけば損はない!

今 回 の ポ イ ン ト

B型肝炎ウイルス陽性 = 肝がんの危険性が高い

肝炎ウイルスがいるだけで、いきなり肝がんになる可能性を踏まえて

陽性の方へは注意深く定期的なフォローを行っていきましょう。

(文 : 福井県肝疾患診療連携拠点病院協議会

野ッ俣 和夫)